



平成 21 年 1 月 30 日

各 位

会 社 名 株式会社ラックランド
代表者名 代表取締役社長 望月 圭一郎
(コード番号 9612 東証 2 部)
問合せ先 執行役員管理本部長 中島 和男
(TEL:03-3377-9331 (代表))

特別損失の発生及び平成20年12月期通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成20年12月期決算において特別損失及び投資有価証券評価損を計上するとともに、平成20年8月12日に公表した「平成20年12月期中間決算短信」における平成20年12月期通期（平成20年1月1日～平成20年12月31日）の業績予想について、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 特別損失の発生及びその内容について

当社といたしましては、最近の飲食店市況や取引先の業績悪化等を勘案し、当社が保有する取引先に対する債権について保守的にその安全性について見直しを行った結果、貸倒引当金繰入額364百万円、減損損失91百万円を含め、特別損失として456百万円を計上いたします。

なお、貸倒引当金繰入額の内容につきましては売掛金に対する364百万円であります。

また、減損損失の内容につきましては、物件受注の為の前渡し金として長期前払費用処理していた91百万円に対するものであります。

2. 投資有価証券評価損の発生及びその内容について

昨年6月末に13,400円台で有りました日経平均株価が12月末には8,800円台に低下、それに伴い「その他有価証券」に区分される取引先等の株式が取得時より大幅に下落したために当社は、保有有価証券の一部について、平成20年12月期通期（平成20年1月1日～平成20年12月31日）において投資有価証券評価損を計上いたします。

平成20年12月期末の投資有価証券評価損の総額

(A)平成20年12月期末の投資有価証券評価損の総額	341 百万円
(B)平成19年12月期の純資産額 (A/B×100)	4,388 百万円 (7.8%)
(C)最近5事業年度（平成15年12月期～平成19年12月期）の 経常利益額の平均 (A/C×100)	642 百万円 (53.2%)
(D)最近5事業年度（平成15年12月期～平成19年12月期）の 当期純利益額の平均 (A/D×100)	342 百万円 (99.9%)

(注) 当社の決算期末は12月31日です。

3. 業績に与える影響

平成20年12月期（平成20年1月1日～平成20年12月31日）の通期業績予想について、平成20年8月12日に公表した「平成20年12月期中間決算短信」における平成20年12月期通期（平成20年1月1日～平成20年12月31日）の業績予想について、下記のとおり修正いたします。

平成20年12月期通期業績予想の修正（平成20年1月1日～平成20年12月31日）

（単位：百万円）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前 回 予 想 （ A ） （平成20年8月12日）	12,500	64	100	52
今 回 修 正 （ B ）	11,634	△159	△122	△858
増 減 額 （ B － A ）	△866	△223	△222	△910
増 減 率	△6.9%	△349.5%	△222.7%	△1751.3%

（注）「今回修正」欄は実績数値であり、詳細につきましては平成21年2月13日に開示予定の「平成20年12月期決算短信（連結）」をご参照ください。

（2）通期業績予想の修正理由（平成20年1月1日～平成20年12月31日）

【 売 上 高 】

通期の見通しとしましては、世界的な金融・経済危機の影響により設備投資が減少し、個人消費の後退傾向など、景気の悪化が一段と鮮明になってまいりました。このような状況のもと、当期の当社の売上高につきましても、前年度に比較して大型物件が少なく、期初に計画していたプロジェクトの延期や中止案件が増加したことなど商業施設分野を中心に厳しい状況が続き、業績予想を下回ることとなりました。

当社の主要顧客である飲食料品小売業界及び外食産業界におきましても、店舗投資を控えるなど引き続き厳しい状況が続き、通期の売上高は11,634百万円と前回予想（平成20年8月12日発表）と比して866百万円（6.9%減）の減少となる見込みであります。

【 経 常 利 益 】

売上高は上述の理由による前回予想比減少を見込んでおりますが、選別受注の実施による当社計画比での粗利率の向上、及び店舗施工の各工程における作業の内製化による外注委託比率の通減、並びに諸経費節減の継続実施に努めてまいりましたが、通期の経常利益は△122百万円と前回予想（平成20年8月12日発表）と比して222百万円（222.7%減）の減少となる見込みであります。

【 当 期 純 利 益 】

上述の特別損失の発生及び投資有価証券評価損の発生等の理由により、通期の当期純利益は△858百万円と前回予想（平成20年8月12日発表）と比して910百万円（1751.3%減）の減少となる見込みであります。

以上